



# 第1回 学校運営協議会だより

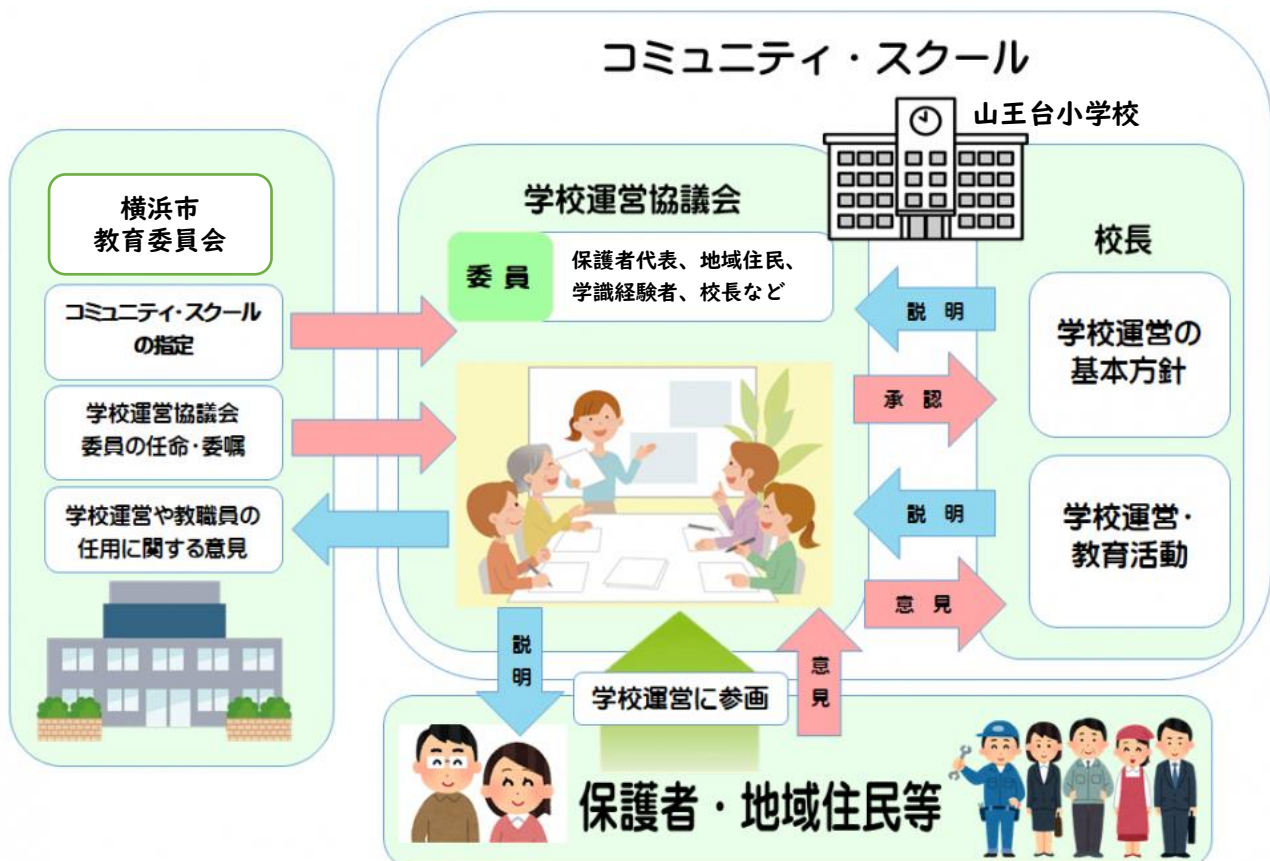
令和5年5月31日  
横浜市立山王台小学校  
校長 遠藤 清美

5月25日(木)に、今年度、第1回目の「学校運営協議会」が行われました。その際にいただいた意見などを紹介させていただきます。

## I 学校運営協議会とは

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めるしくみです。学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクール（CS）と呼びます。

## 学校運営協議会を設置した学校の仕組み



## 2 PTAとの違いは

地域や保護者の皆様のご協力が必要なことは同じですが、次のような違いがあります。

|          | 学校運営協議会             | PTA                                  |
|----------|---------------------|--------------------------------------|
| 主な目的     | 地域とともにある学校づくりのための議論 | 校外を含めた児童の健全育成                        |
| 主な活動     | 学校運営の基本方針承認や、意見申述など | 児童の思い出づくりや、校外における安全確保、学校の環境整備等に関する活動 |
| 構成メンバー   | 地域、保護者、学校の代表者       | 保護者、教職員                              |
| 委員会・役員会等 | なし                  | あり                                   |

## 3 令和5年度 学校運営協議会委員

次の委員が中心となって進めていきます。今年度のメンバーは次のとおりです。よろしくお願いたします。



#### 4 第1回 学校運営協議会の内容

- 学校経営の方針、教育の重点について
- 学校教育目標実現に向けた「三つのプラン」について
  - 学力向上アクションプラン、豊かな心の育成推進プラン、健やかな体の育成プラン
- 学校行事について 等

新年度になり、日々子どもたちの様子、学力や体力に関する事、地域での様子、また、学校に関する最近の出来事や、今後、地域とともにある学校のあり方について活発な議論がなされました。次は、いただいたご意見の一部です。

- ・学力は市の平均を下回っている。同じ中学校に進む子どもたちに、基礎的・基本的な内容をしっかり身につけさせることが大切だ。
- ・本年度、校内における重点研究は特別活動を核として、相手の立場や考えを尊重して発表し合う力を育てていく。地域としてどのように関わっていけるかも考えていきたい。
- ・保護者の考えが固まっている部分がある。学習指導について、理解してもらうことが難しい点もあるのではないか。
- ・学力について、教師が子どもたちの競争心を煽ることはあるのか。昔のように友達と成績の比較をした方が良いのではないか。
- ・学力の順位がなくなったことの弊害として、今の子どもたちに対する教育の難しさがあると思う。
- ・子どもに対して、あまり構えないようにすることも大切ではないか。
- ・今の教育は平等の面が強すぎて、地域で子どもが何かをしても、注意することが難しい、また、説明もしにくい。
- ・いじめに対して、学校はどのような対応をしているのか。昔と違って、今の対応を知りたい。保護者からの発信でわかることもあるのでは。
- ・いじめなどについて、学校では、担任が子どもたちに個別に聞き取りを行い、保護者と連携して指導したり、児童支援専任が全クラスに回って指導したりしている。
- ・家庭において、「学校で今日どうだった?」「何かあった?」など、日々子どもの声を聞くこと、また、しっかり褒めてあげることなど、当たり前の行為をすることが、子どもの育ちに結び付くと思う。
- ・「揚げば尊し」の歌詞、「身を立て名をあげ」も歌ってはならない世の中になった。子どもたちはありのままが良いのではないか。

- ・ イソップ物語などの昔絵本を読んでいるのだろうか。道徳的な教訓や学びを身に付ける機会が減っている。
- ・ 親は、子どもの不遇にどう対処していくか、その方法、色々な知識を教えることが必要である。
- ・ いじめについて親が過敏になっている部分がある。いじめがあったとしても、自分たちで解決することもある。見守るという選択肢も場合によっては必要かもしれない。
- ・ 子どもは認めてもらいたい思いをもっている。親が家庭で聞いてやる必要がある。
- ・ 子どもたちは、一人一人が健やかに育つように努力をしている。
- ・ 外で遊んでいる子どもが何か悪いことをしたら、きちんと注意することが必要。
- ・ 共稼ぎが多いから、子どもの居場所がない部分もある。居場所を作ってあげることが必要である。
- ・ 学校であった事を教師が親に伝えたら、親は家庭でその子がその事実を認める場をつくるのが大切である。また、家庭以外において、子ども自身が自分の気持ちを出せる場所を見つけられるといいと思う。それが近所のおじさん、おばさんかもしれない。
- ・ 子どもにはいろいろ悩みがある。できるだけ子どもを理解したい。
- ・ 小学生の時期はとにかく体づくりが大切である。
- ・ 少子化と言われているが、子どもたちをよろしく願います。

様々なお意見を通し、今後、保護者を含めた地域の皆様と学校が手を取り合い、子どもたちにとっても、地域にとってもよりよい学校を目指していけるよう努力してまいります。

